

コミュニケーションに困難さを抱えた子ども・若者とその支援者に対する認知行動療法
法自立支援機器の開発
開発機関名 株式会社メンサポ

1. 全体の概要

本事業では、コミュニケーションに困難を抱える障害児者および保護者に対し、認知行動療法に基づく3種の自立支援機器（育児ストレス対処・視線トレーニング・対人不安改善）を開発した。大学の専門知見をデジタル化し、PC内蔵カメラによる視線推定技術等を活用することで、人的資源に依存しない安価で汎用性の高い支援体制を構築した。臨床研究にて社交不安尺度の有意な改善と高い満足度を確認し、令和8年度以降の社会実装に向けた販売モデルを確立した。

2. 開発した支援機器またはシステム

コミュニケーションに困難さを抱えた子ども・若者とその支援者に対する認知行動療法自立支援機器

①自閉症傾向を持つこどもの親が育児ストレスとうまくつきあうアプリ：ASD児の保護者を対象に、認知行動療法のエッセンスを動画やワークを通じて学ぶオンラインプログラム。約1週間で子育てに活かせる内容を習得できる。



図1 育児ストレスアプリの画面構成とセッション例

②対人不安視線トレーニング機器（ECOM Lite）：対人不安を有する方を対象に、ノートPCの内蔵カメラで視線を合わせる練習を行う機器である。リアリティレベルに応じた段階的視線トレーニングを開発した。本機器はヘッドマウントディスプレイ不要で、圧迫感や酔いがなく、低コストでの導入が可能である。



図2 リアリティレベルに応じた段階的視線トレーニング

③対人不安アプリ：社交場面での対人不安を有する方を対象に、認知行動療法をセッションとホームワークを通じて約6週間かけて学ぶオンラインプログラム。

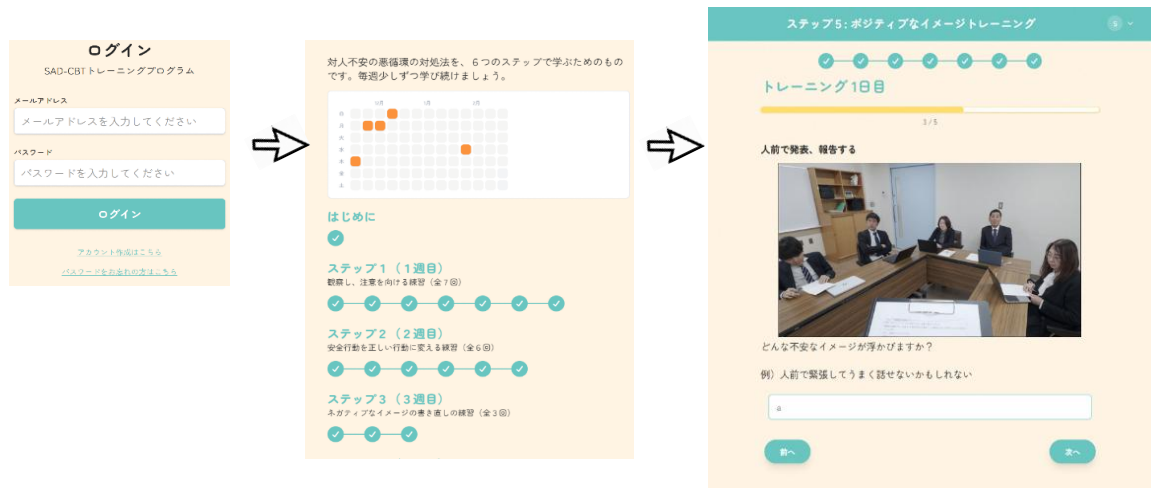


図3 視覚的フィードバックの活用やシーン別の不安場面を入れたコンテンツ